

JCOPY「著作物の委託のお願い」公開	1
第56回全出版人大会開催	1
アジア太平洋出版連合総会	2
お知らせ	3

出版者著作権管理機構 「著作物の委託のお願い」を公開

(一社)出版者著作権管理機構(=JCOPY、相賀昌宏代表理事)は(公社)日本複製権センターとの管理委託契約を2017年3月31日をもって解除したことを受け、JCOPYへの出版物の委託につき案内を出しており、本誌にてJCOPYからの周知文書の全文を掲載する。

出版者著作権管理機構(JCOPY)への委託のお願い

平素はJCOPYの業務にご理解をいただき誠にありがとうございます。

かねてよりご案内しておりました通り、本年3月末をもってJCOPYは日本複製権センター(JRRC)との再委託契約を解除いたしました。本件につきまして、検討、決定に至るまで多くの出版者からご意見、ご協力をいただきましたことを、この場をお借りして御礼を申し上げます。

さて今後は、構成団体である日本書籍出版協会、日本雑誌協会、自然科学書協会、出版粋会、日本専門新聞協会、日本図書教材協会、日本楽譜出版協会による運営のもと、JCOPYは「出版者発行出版物の集中的複製権管理事業者」を目指し、活動して参ります。

各出版者におかれましては、出版物の適切な複製権管理と、利用者の利便性向上のために、JCOPYへのご委託をお願い申し上げます。

JCOPYは出版者から出版物のご委託をいただき、利用者に対して複製の許諾をお出ししております。利用者からお支払いいただいた利用料は、年2回のペースで出版者に分配いたします。なお、ご委託に際しましては、「委託金」、「年会費」等々のご負担は一切ございません。

詳細な説明をご希望の方は、JCOPY事務局まで
(Tel:03-3513-6969、E-Mail:info@jcopy.or.jp)

第56回 全出版人大会

56回目となる全出版人大会(主催:日本出版クラブ)は、松井清人氏(文藝春秋社長)を大会委員長に、5月11日(木)午後3時よりホテルニューオータニ「鶴の間」で開催する。式典では、来賓祝辞、長寿者(70歳以上の役員対象)42名、永年勤続者(勤続15年以上の従業員対象)317名の表彰を行なう。また、ノンフィクション作家の石井妙子氏の講演が予定されている。

今年の大会声明(案)の全文は以下の通りである。

大会声明(案)

二〇一四年十一月、毎日出版文化賞を受賞した立花隆さんは、当時こう話していました。

「書店は情報発信源であり、発信地である。知恵と情報の宝庫である。書店という空間に一步足を踏み入れれば、今、世の中で何が起きているのか、何に注目が集まっているのか、たちどころに分かる。今は我慢のとき。心ある読者は、必ず書店に帰ってくる」。

大変力強いエールでしたが、それから二年半が過ぎた現在、書店はかなりのスピードで数を減らし、全国で一万三千店を割り込むのではないかと懸念されています。

物流をめぐる深刻な危機、軽減税率適用に向けての苦しい闘い、図書館との共存、さらにはネット上にはびこる悪質な違法サイトなど、いま出版界が直面し、急いで解決しなければならない問題は枚挙にいとまがありません。しかも、すべての懸案は、版元独自で対応できるものではなく、版元・取次・書店が一体となって取り組まなければならない難問ばかりです。

何より懸念されるのは、「知恵と情報の供給源」である版元が、出版の将来に不安を抱き、自信や誇りを失いつつあることでしょう。デジタル化の大波に揉まれる中で、われわれ出版人は、その変化のあまりの激しさに、とまどい、揺れ動き、ひたすら対応に追われ

生き残る道を探して彷徨っています。「知恵と情報の発信源」である書店と同様、「知恵と情報の供給源」である版元も大きく揺らいでいるのです。

著作権の第一人者として知られる福井健策弁護士は出版社には六つの機能がある、と言います。

- ①「発掘・育成機能」雑誌・書籍などの出版物を通して、書き手を発掘し、育てる。
- ②「企画・編集機能」出版物の創作をサポートし、時にリードする。
- ③「ブランド機能」文学賞や雑誌媒体の信用によって書き手や出版物を紹介、推奨する。
- ④「プロモーション・マーケティング機能」出版物を宣伝し、様々な販路を通じて展開する。
- ⑤「投資・金融機能」①から④までにかかる様々なコストとリスクを負担する。
- ⑥「マネジメント・窓口機能」出版物の二次展開において、窓口や代理を務める。

規模の大小にかかわらず、すべての版元は六つの機能を併せ持っています。すべての出版人は六つの機能のどこかに関わって、出版文化を支えてきました。今こそ、われわれひとり一人がその責任を自覚し、矜持をもって難局に立ち向かわなくてはなりません。

忍耐強く頑張れば、いつかは報われる、そんな「我慢のとき」は、もはや限界に近づきつつありますが、それでも変革の兆しは見え始めています。書店発のベストセラーがいくつか誕生し、取次の提案をうけて版元が新しい商品を開発し、さらには複数の版元がスクラムを組んで、同じ作家の異なる作品の新聞広告を同時に打つといった、読者に出版物を届けるための新しい試みも目につくようになりました。

変化を恐れず、斬新な発想で攻勢に転じる、「忍耐から攻勢へ」をスローガンに掲げて、大会声明を締め括ります。 平成29年5月11日

(問合せ 日本出版クラブ Tel.03-3260-5271)

アジア太平洋出版連合総会 新会長にD・ブハイン氏

アジア太平洋出版連合（APPA）の2017年度総会が、4月20日に韓国・ソウルで開催された。今回の総会には加盟17カ国中、14カ国（委任状提出の2カ国を含む）が参加した。日本からは、書協国際委員長長の山本憲央氏（中央経済社）等が出席した。

会議では、今回で任期満了となるプラブダ・ユン現

会長（タイ出版社書店協会）の後任となる会長の選挙が行われた。選挙には、大韓文化出版協会のユン・チュルホ氏、フィリピン教育出版協会のD・ブハイン氏、台湾出版協会のホワン・パオピン氏の三氏が立候補し、投票が行われた。その結果、ユン氏とホワン氏が各4票、ブハイン氏が5票を獲得し、僅差でブハイン氏が会長に選出された。同氏は元会長を務めており、今回が2度目の会長就任となる。また、副会長には日本を含む5カ国が、監事にはパプアニューギニアが指名された。

また、各会員の年会費は従来、各国の自主申告で決められていたが、不公平感があるとの指摘があり、検討の結果、基準となる最低ラインを500米ドルとし、それ以上の増額については各国の判断で行うこととなった。日本は、APPA設立の提唱者であったこともあり、1万ドルを負担していたが、今回の変更を期に、5000ドルとすることとした。また、新会長となったフィリピンは3000ドルを拠出すると表明した。

次回の総会は2018年9月にフィリピン・マニラで開催されることとなった。

日本出版学会

2017年度春季研究発表会・総会

日本出版学会の2017年度春季研究発表会・総会が5月13日（土）に、日本大学法学部三崎町キャンパス本館4階にて開催される。

日本出版学会では、出版およびそれに関連する研究発表を募集し、春季：東京／秋季：関西と年に2回開催している

春季研究発表会のプログラムは以下の通り。

■分科会（9:30～12:00）

<第1分科会>

09:30 『ドラゴンマガジン』の特集記事にみる内容的徴と方法論（山中智省）

10:00 「造本装幀コンクール」の50回（田中光則）

10:30 近代メディアミックスの形成過程（本間理絵）

11:00 出版物の変容に関する史的考察（鯉淵拓也）

11:30 鏡花本の〈装い〉と作品受容に与えた影響（常木佳奈）

<第2分科会>

09:30 ウクライナにおける表現の自由（田上雄大）

10:00 大規模図書選定事業の比較（伊藤民雄）

10:30 学校図書館における電子書籍利用に関する一

考察（植村八潮・野口武悟）

11:00 図書館というアーカイブ機関とアーカイブ化の対象の行方（宮下義樹）

11:30 原稿の書き換えによる電子書籍TTSの誤読解消についての考察（植村要）

■2017年度総会（13:10～）

■ワークショップ（14:00～17:10）

- ・電子出版における「定額制読み放題サービス」が出版に与える影響
- ・「ライトノベル」にどう向き合うか？
- ・まとめサイト問題と編集者の責任
- ・出版創業・独立史データベース（仮）の共同製作に向けて

■閉会（17:10）

閉会后、日本出版学会賞の授賞式、18時より懇親会が行われる。

発表会の参加費は、一般2000円、会員1000円、（学部生は無料）。懇親会費は6000円。いずれも事前申し込みが必要となる。

問合せ先は、日本出版学会事務局（Tel 03-3313-7347、FAX 03-3313-7348、E-Mail : info@shuppan.jp）

第51回造本装幀コンクール 応募締切りを5/26まで延長！

第51回 造本装幀コンクール（主催：日本書籍出版協会・日本印刷産業連合会）は、現在、出品作品を募集している。今年の出品応募の締め切りを**5月26日（金）**までに延長した。応募はその作品（書籍）に携わった方であれば誰でも応募できる。

募集要項は以下のURL

《 <http://www.jbpa.or.jp/pdf/documents/zohon2017-panf.pdf> 》

Web申込みフォーム： <https://goo.gl/RSQBbz>

募集対象：2016年1月1日～12月31日に発行された書籍

出品料：作品1点につき5,940円（税込）

全出品作品は、今年の11月に開催する神保町ブックフェスティバル期間中に東京堂ホールにて3日間の展示会を行い、また、受賞作品は、ドイツ・ライプチヒでの「世界で最も美しい本コンクール」に日本を代表して出品される（今年の同コンクールでは「スポーツ大事典／大修館書店刊」が栄誉賞を受賞）。

造本装幀コンクール関連イベントスケジュール

◎第51回造本装幀コンクール

○審査会：7月3日（月）※非公開

○表彰式：10月19日（木）午後4時30分～

於・日本出版会館

○レセプションパーティー：同日午後6時～ 於・出版クラブ ※受賞者及び関係者・メディア

○一般公開：11月3日（金）～5日（日）

於・東京堂

本店6階

ホール

（神保町）



昨年の公開展示の様子

◎その他関連イベント

○5月13日（土）午前10時～：日本出版学会2017年度春季研究発表会「『造本装幀コンクール』の50回」
田中光則氏（日本大学法学部三崎町キャンパス本館4階／問合せ先 日本出版学会 Tel 03-3313-7347）

○7月18日（火）～9月17日（日）：触れて発見！時代で比べるブックデザイン展～造本装幀コンクール受賞作品×内田嘉吉文庫～ 於・日比谷図書文化館（日比谷公園内）

（問合せ 日本書籍出版協会 Tel 03-3268-1303）

書協会員限定！出版ミニセミナー 「書店の生き残り戦術VOL.2」

（一社）日本書籍出版協会（書協）では、会員限定のミニセミナーを定期的の実施している。

今回は、5月15日（月）15:00～17:00（場所：書協）に、「書店の生き残り戦術Vol.2」として、大阪府枚方市を中心に展開する水嶋書房の水嶋成年社長を迎え、「書店をサードプレイスとする（仮）」と題した講演を行う。水嶋書房（＝株式会社大阪水嶋書房）は、本だけではなく鞆や雑貨等を取りそろえカフェを併設するなど、本屋が「自宅」「職場（学校）」でもない第三の居場所＝サード・プレイスになるよう展開している。

（水嶋書房HP <http://mizushimasyobo.com/>）

受講料は2,000円、定員30名。

申込みは、<https://goo.gl/forms/eoT04SI8j1HWAWZF2>

（申込み締切：5月8日）

（問合せ 日本書籍出版協会 Tel 03-3268-1303）

出版統計

書籍	3月期	前年同月比	1~3月期	前年同期比	書籍出回り	3月期	前年同期比	1~2月期	前年同期比	
新刊点数	6,565点	91.1	17,443点	93.0	推定出回数	12,129万冊	97.2	29,166万冊	95.1	
新刊推定発行部数	2,875万冊	96.0	7,901万冊	96.6	推定出回金額	1,429億円	98.1	3,428億円	97.2	
新刊平均価格	1,193円	102.1	1,183円	99.7	推定出回平均価格	1,178円	100.9	1,175円	102.2	
新刊推定発行金額	343億円	98.1	934億円	96.4	実売部数	3月期	前年同期比	1~3月期	前年同期比	
月刊誌	3月期	前年同月比	1~3月期	前年同期比	書	籍	8,308万冊	97.8	19,183万冊	95.4
発行銘柄数	2,290点	97.8	2,682点	96.9	月刊誌	9,238万冊	92.9	22,528万冊	91.2	
推定発行部数	15,423万冊	94.8	38,649万冊	93.2	週刊誌	3,231万冊	91.3	9,043万冊	90.3	
平均価格	658円	102.5	643円	101.6	実売金額	3月期	前年同期比	1~3月期	前年同期比	
推定発行金額	1,015億円	97.1	2,485億円	94.8	書	籍	1,050億円	98.8	2,386億円	97.5
週刊誌	3月期	前年同月比	1~3月期	前年同期比	月刊誌	604億円	95.8	1,428億円	93.0	
発行銘柄数	74点	97.4	76点	98.7	週刊誌	113億円	91.1	314億円	90.5	
推定発行部数	4,970万冊	92.4	14,169万冊	92.8	実売金額合計	1,767億円	97.2	4,129億円	95.3	
平均価格	359円	100.8	357円	100.8						
推定発行金額	178億円	93.2	506億円	93.6						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
 - 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
 - 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
 - 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額
- [提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379)]

EVENT INFORMATION

- 4月21日~6月21日 **期間限定 謝恩価格本ネット販売フェア** <http://www.bargainbook.jp>
- 5月11日 **全出版人大会** (於: ホテルニューオータニ)
- 5月27日 日仏図書館情報学会主催講演会「**画家プッサンとフランス17世紀の出版史**」
詳細HP: <http://www.sfjbd.sakura.ne.jp>
- 5月31日 日本出版クラブ主催セミナー「**今、出版の存続をかけて - Web時代の出版ビジネスモデルを考える**」講師 金原俊 (日本電子出版協会会長)
詳細HP: <http://www.shuppan-club.jp>
申込問合先: sugiyama@shuppan-club.jp
- 6月3日 日本出版クラブ「洋書の森」主催~翻訳者のためのウィークエンドスキルアップ講座
第27回「**文学・音楽・翻訳 ポブ・ディランから始めよう!**」講師: 柴田元幸氏(翻訳家・作家)
詳細HP: <http://www.shuppan-club.jp>
問合先: yousho@shuppan-club.jp

編集後記

今回初めて書協限定ミニセミナーのお知らせを掲載しました。ミニということで、ワークグループなどがあつたり、和気あいあいとしたセミナーが多く、ひそかに人気が高まってきております。(あ)

第51回造本装幀コンクールの募集締め切りが迫っています。今年も、本コンクールの受賞作品が海外のブックデザイン展で受賞するなど、日本のブックデザインが海外でも評価されています。今回も素敵な本がたくさん集まることを楽しみにしています。(吉)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人: 中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL: 03-3268-1301

FAX: 03-3268-1196

書協Web サイトもご覧ください

<http://www.jbpa.or.jp>